



2015 年 3 月 17 日
株式会社サーベイリサーチセンター

SRC 自主調査の調査結果

“地方創生” 大学生・第二新卒・社会人における UJ ターンに対する意識調査

株式会社サーベイリサーチセンター（本社：東京都荒川区、代表取締役：戸祭浩）は、「大学生・第二新卒・社会人における UJ ターンに対する意識調査」について、インターネットリサーチモニターを対象としたアンケート調査を実施しました。

■ 調査背景

日本はすでに「人口減少・超高齢社会」を迎えており、今後も人口減少・高齢化が加速していく見通しです。また、それにより生じる社会問題や市場構造の変化への対応は、地方創生施策を今後推進する地方自治体にとって喫緊の課題となっています。

そこで、これらの問題の課題解決方法のひとつとして考えられる「若年者の UJ ターン※」をテーマとし、「職業観」、「結婚・子育て観」、「居住観」などの視点で、UJ ターンに対する考え方・意向を把握することを目的として自主調査を実施しました。

※ Uターン：本調査では、地方出身者が一度都市圏に進学・就職し、その後、出身地に移住・転職することを指します。

Jターン：本調査では、地方出身者が一度都市部に進学・就職し、その後、出身地ではない地域に移住・転職することを指します。

■ 調査概要

調査内容	： インターネットパネル
実施方法	： インターネットモニター調査（モニタに対するクローズド調査）
実施日	： スクリーニング調査 2015 年 2 月 27 日 ～ 2 月 28 日 ： 本調査 2015 年 3 月 1 日 ～ 3 月 4 日
調査対象者	： 現在都市圏に居住している地方出身者 18～39 歳の男女 ※都市圏：東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県・大阪府 地方：上記記以外の道府県
有効回答	： 829 サンプル
うち大学生	： 217 サンプル（大学または大学院へ通学している者）
うち第二新卒	： 159 サンプル（学卒後 1～3 年目）
うち社会人	： 453 サンプル（学卒後 4 年目～39 歳・非就業者含む）

■ 自主調査結果 サマリー

『地方出身者』×『都市圏在住』×『18～39歳』における、Uターンに対する意識調査の結果は以下の通り。

■ Uターンの意向 <図表1～3>

- ・Uターン意向者は全体の **47.4%**
- ・Uターンを想定する年齢の平均は、現在「**大学生**」では **26.3歳**、現在「**第二新卒**」では **32.6歳**、現在「**社会人**」では **43.0歳**
- ・大学生の **53.5%**が「**第二新卒期**」に Uターンを想定

※第二新卒：学卒後1～3年目

■ Uターンすることで良くなると思うこと <図表6-1>

- 1位 環境面** : **66.6%** (自然環境・気候)
- 2位 子育て面** : **47.9%** (子育て・教育環境)
- 3位 地元面** : **43.2%** (人間関係、親・友人や地域コミュニティなど・地域への愛着)
- 4位 居住面** : **41.5%** (住居・生活など、住環境の利便性)
- 5位 行政施策** : **21.6%** (自分が住む地域の行政に対する評価)
- 6位 結婚面** : **21.5%** (出会い・恋人や配偶者との関係)
- 7位 仕事面** : **18.3%** (働く環境・キャリア形成・やりがい)
- 8位 生活面** : **15.8%** (余暇・娯楽・ショッピング環境)

■ Uターンするにあたっての課題 <図表8-1～3>

- ・職業観における懸念は「**給与**」**42.7%**、「**業種**」**40.2%**、「**魅力的な会社の有無**」**39.4%**
- ・プライベート面での課題は「**地域コミュニティに戻れるか**」**23.4%**、「**地方生活に飽きないか**」**21.4%**
- ・環境観・居住観での課題は「**通勤の利便性**」**34.9%**、「**実際に住んでみたときの利便性**」**33.1%**

■ Uターンの意向が高まる支援・要素 <図表9-1～4>

- ・職業観においては「**転職サービス**」**33.2%**、「**Uターン就職活動時の経費助成**」**30.6%**
- ・生活視点では「**食べ物のおいしさ**」**40.9%**、「**スーパーなどの件数の充実**」**37.2%**
- ・結婚・子育て観では「**子どもの医療費助成**」**38.2%**、「**保育園・幼稚園の低料金化**」**37.0%**
- ・環境観・居住観における魅力的な支援は「**スーパーなどの施設情報、地域情報の充実**」**44.1%**

■ Uターンの情報源 <図表10>

- ・Uターンの情報源は「**自治体 HP**」**37.9%**、「**転職情報サイト**」**31.3%**の2種類がほとんど

■ 居住地と出身地、希望地、配偶者の出身地 <図表11～13>

- ・出身地とUターン希望先が一致しているのは **57.6%**
- ・出身地に今も両親が住んでいるのは **65.9%**
- ・地方出身者の **4割**が**上京先の相手と結婚**、同郷の結婚は **12.0%**

■ 現在の業種と希望業種 <図表 1 4>

- ・UJ ターン時に現在の業種と**同じ業種を希望**するのは **4 割強**

■ UJ ターン時の住居について <図表 1 6-1～2>

- ・UJ ターン時に希望する住居形態は「**マンション・戸建の購入**」が **38.0%**で多数派
- ・（移住ではなく）**二地域居住**については、**2 割弱が肯定的意見**

■ サーベイリサーチセンター会社概要

- ・会社名 : 株式会社サーベイリサーチセンター
- ・所在地 : 東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号
- ・設立 : 1975（昭和 50）年 2 月
- ・資本金 : 6,000 万円
- ・年商 : 59 億円（平成 26 年度）
- ・代表者 : 代表取締役 戸祭 浩
- ・社員数 : 184 名（平成 27 年 3 月現在）
- ・事業所 : 東京（本社）含め、全国 10 ヶ所
- ・所属団体 : 公益財団法人日本世論調査協会
一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会（JMRA）
日本災害情報学会
日本災害復興学会 など
- ・その他 : ISO9001 認証を取得（2000 年 6 月）
プライバシーマークの付与認定（2000 年 12 月）
ISO20252 認証を取得（2010 年 10 月）
- ・URL : <http://www.surece.co.jp>

■ 本件に関するお問合せ先

株式会社サーベイリサーチセンター（<http://www.surece.co.jp>）
営業企画本部 柘植航大（tsuge_ko@surece.co.jp）
TEL : 03-3802-6727 FAX : 03-03-3802-7321

- 調査結果を使用される際は、「サーベイリサーチセンターが実施」などご記載ください。
- 無断転載・複製はご遠慮ください。
- 報道発表資料に記載している情報は、発表日時点のものです。

■ 詳細結果

目次

1.UJ ターン意向割合	p.5
2.UJ ターンを想定する年齢の平均	p.6
3.UJ ターンの想定年齢のボリュームゾーン	p.7
4.現状の満足度	p.8
5.属性別の現状の満足度	p.9
(1) 満足度 (総合)	p.9
(2) 属性別の現状の満足度 (仕事)	p.10
(3) 属性別の現状の満足度 (プライベート)	p.11
(4) 属性別の現状の満足度 (住環境)	p.12
6.UJ ターンへの期待	p.13
(1) UJ ターンによって良くなると思うもの	p.13
(2) UJ ターン意向別の UJ ターンによって良くなると思うもの	p.14
7.UJ ターンを希望する理由	p.15
(1) UJ ターンを希望する理由 (職業観)	p.15
(2) UJ ターンを希望する理由 (地元観・生活観・結婚観・子育て観)	p.16
(3) UJ ターンを希望する理由 (環境観・居住観)	p.17
8.UJ ターンするにあたっての課題	p.18
(1) UJ ターンするにあたっての課題 (職業観)	p.18
(2) UJ ターンするにあたっての課題 (地元観・生活観・結婚観・子育て観)	p.19
(3) UJ ターンするにあたっての課題 (環境観・居住観)	p.20
9.UJ ターンの意向が高まる支援・要素	p.21
(1) UJ ターンの意向が高まる支援・要素 (職業観)	p.21
(2) UJ ターンの意向が高まる支援・要素 (地元観・生活観)	p.22
(3) UJ ターンの意向が高まる支援・要素 (結婚観・子育て観)	p.23
(4) UJ ターンの意向が高まる支援・要素 (環境観・居住観)	p.24
10.UJ ターンの情報源	p.25
11.出身地と希望地の一致の割合	p.26
12.既婚者の出身地と、自身の出身地・居住地・その他	p.26
13.出身地と現在の親の居住地の一致の割合	p.27
14.現在の業種と希望する業種	p.27
15.結婚について	p.28
(1) 結婚の有無	p.28
(2) 結婚願望	p.29
(3) 結婚を決意するタイミング	p.30
16.UJ ターンする際の住居について	p.31
(1) UJ ターン時に希望する住居形態	p.31
(2) 二地域居住について	p.32

■ 詳細結果

1. UJ ターン意向割合

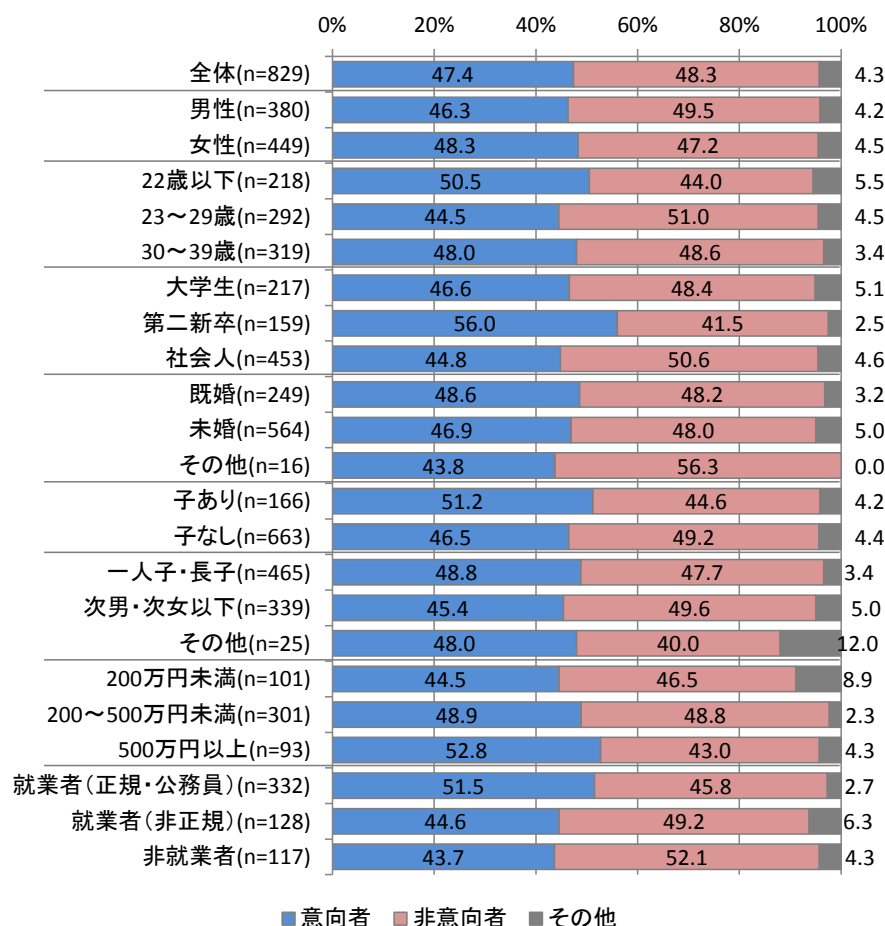
都市圏在住の地方出身者 18～39 歳の 47.4%は UJ ターンの意向あり

現在都市圏に居住している地方出身者の 18～39 歳の男女のうち、「現在、UJ ターンをしなくてはならない」、または「将来的に UJ ターンをしなくてはならない」と回答したのは 10.7%、「UJ ターンをするつもり」が 12.9%、「UJ ターンしたいかもしれない」が 23.8%であった。

「現在、UJ ターンの必要性も希望もない」以外の回答を「意向者」とした場合、「大学生」の 46.6%、「社会人」の 44.8%に対して「第二新卒」が 56.0%と、比較的高い割合となっている。

「既婚」・「子どもあり」が「未婚」・「子ども無」に対して僅かに意向が高くなっている。年収（本調査では額面所得）は高い方が意向は高くなっており、就業状況では「就業（正規社員・役員）」、「就業（非正規社員・アルバイト）」、「非就業」の順に意向が高くなっている。但し、いずれも僅差であるため、参考値とする。

図表 1 UJ ターンの意向割合と想定年齢



※意向者：「現在、UJ ターンをしなくてはならない状況である」、「将来的に UJ ターンをしなくてはならないことになると思う」、「将来的に UJ ターンをするつもりである」、「UJ ターンをしたいかもしれない」の回答を足したもの

※非意向者：「現在、UJ ターンの必要性も希望もない」の回答数

2. UJ ターンを想定する年齢の平均

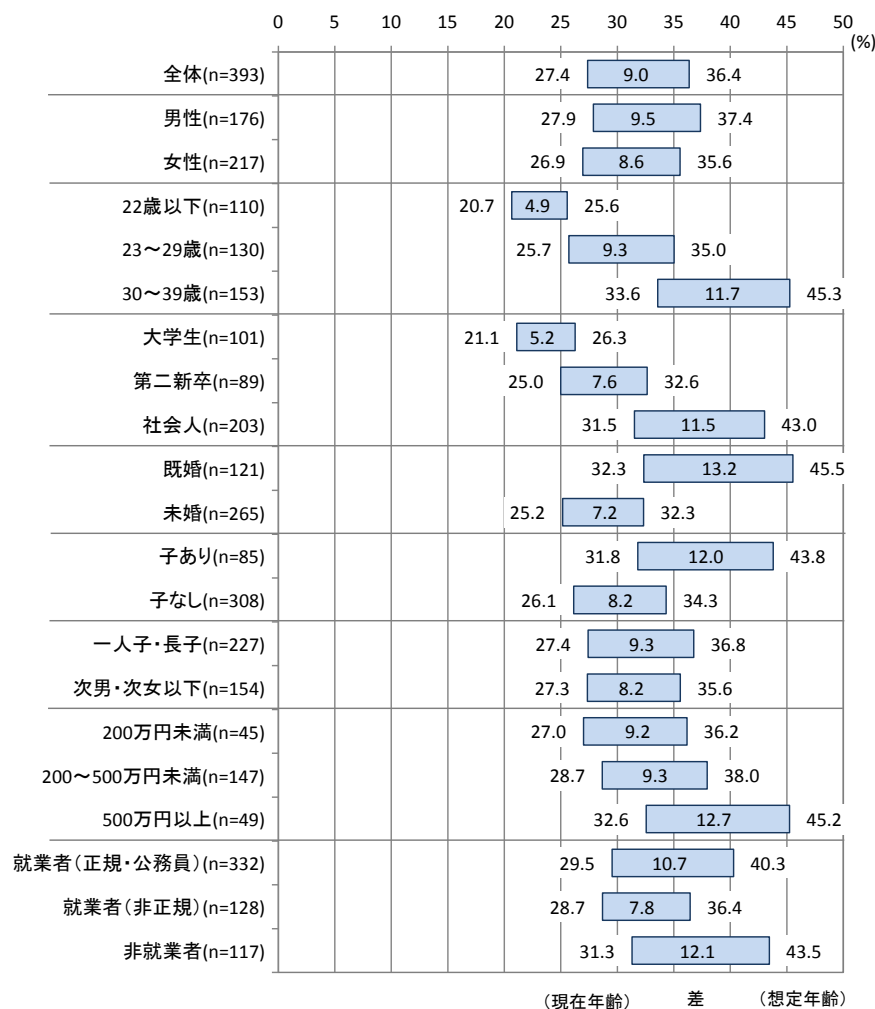
大学生 26.3 歳、第二新卒 32.6 歳、社会人 43.0 歳が目途

現在都市圏に居住している地方出身者の 18～39 歳の男女で、「UJ ターン意向あり」と回答した人の全体の「UJ ターン想定年齢（UJ ターンの必要性が生じる年齢、または希望する年齢）」の平均は「36.4 歳」であった。平均年齢が「27.4 歳」であったため、UJ ターンの想定年齢まで平均して「9.0 年」となっている。

30 歳、35 歳、40 歳と、区切りのよい年齢を選択する傾向がみられるが、「大学生」の回答の平均を見ると、UJ ターンを想定している年齢は「26.3 歳」となっている。「第二新卒」は「32.6 歳」、第二新卒を除く「社会人」は「43.0 歳」となっている。

「既婚」の想定年齢の平均が 45.5 歳、「子どもあり」が 43.8 歳で、「未婚」、「子ども無」に対して相対的に高くなっている。平均年齢の差もあるが、結婚や出産をすると、UJ ターン意向があっても、期間を後ろ倒しにしている可能性が示唆される。

図表 2 現在年齢、UJ ターン想定年齢（UJ ターン意向者のみ）



※それぞれ属性によって年齢の偏りがある（例えば年収が高い方が年齢が高いなど）ため、参照する際は注意されたい。

3. UJ ターンの想定年齢のボリュームゾーン

大学生の「UJ ターン意向者」の半数は「第二新卒期」

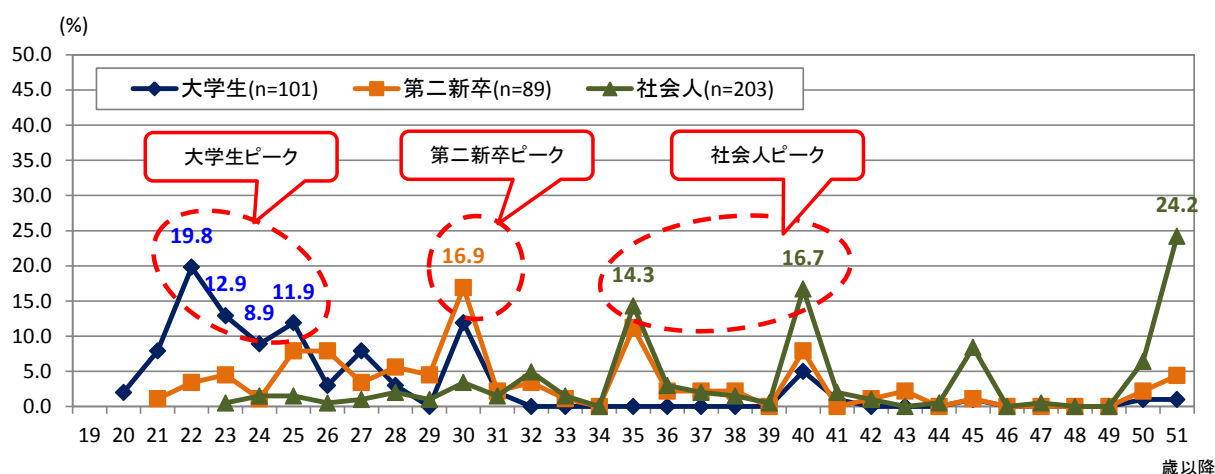
UJ ターンを予定・希望する年齢についてみると、「第二新卒期」、20 代最後となる「30 歳前後」、転職の限界ともいわれる「35 歳前後」と3回のピークがあった。

「大学生」は、「22～25 歳」の回答の合計が 53.5% となっており、ボリュームゾーンが「第二新卒期」となっている。都市圏での就職活動と並行して UJ ターンを検討ないし地方での活動を行った後、第二新卒期間も検討を継続することが考えられる。

「第二新卒」は、「25～30 歳」の回答割合が 46.2% となっており、30 歳まで緩やかに検討を続けている。

第二新卒を除く「社会人」は、5 歳刻みでピークが見られ、「35 歳」が 14.3%、「40 歳」が 16.7%、以降は傾向が落ち着き、「51 歳以降」が 24.2% となっている。「51 歳以降」の内訳としては、「55 歳」が 2.5%、「60 歳」が 13.8%、「61 歳以降」が 4.9% となっている。これより、「35 歳」と「40 歳」のピークを過ぎると 60 歳まで意向が落ち着いてしまうことがわかる。

図表 3 UJ ターン意向者の想定年齢（UJ ターン意向者のみ）



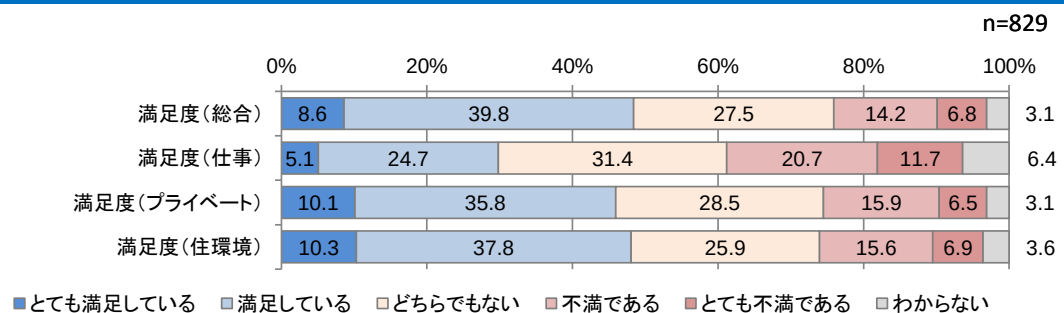
4. 現状の満足度

現在の生活に満足している人が 48.4%、一方、仕事に満足している人は 29.8%

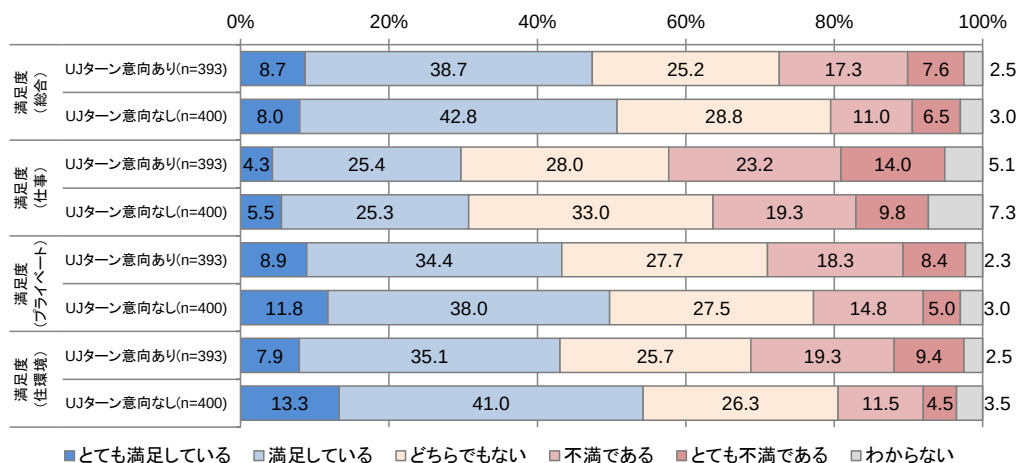
やや漠然としているが、仕事・プライベート・住環境を総合した現在の生活の満足度について質問したところ、現状の満足度は、「満足度（総合）」、「満足度（プライベート）」、「満足度（住環境）」のいずれも、5 割弱が概ね「満足」と回答している。「満足度（仕事）」は 29.8%と満足度が相対的に低くなっている。

UJ ターン意向別の満足度を比較すると、概ね「UJ ターン意向あり」の満足度が低くなっている。特に、「満足度（仕事）」については、非意向者に比べ、意向者の「不満」が大きくなっている。

図表 4-1 現状の満足度※



図表 4-2 UJ ターン意向別 現状の満足度（UJ ターン意向「その他」以外）



※ 各満足度については、「現在の居住地に住んでいることを前提として、それぞれの現在の満足度をお答えください」と質問した。

- ・「満足度（総合）」：現在の『仕事・プライベートを含めた生活全体』の総合的な満足度
- ・「満足度（仕事）」：現在の『仕事（職業・働き方・給与・キャリアなど）』に対する満足度（大学生は都市圏で働いた場合を想像）
- ・「満足度（プライベート）」：現在の『プライベート（友人・恋人関係や休日の過ごし方・趣味など）』に対する満足度
- ・「満足度（住環境）」：現在の『住環境（日常生活・自宅の住み心地など）』に対する満足度

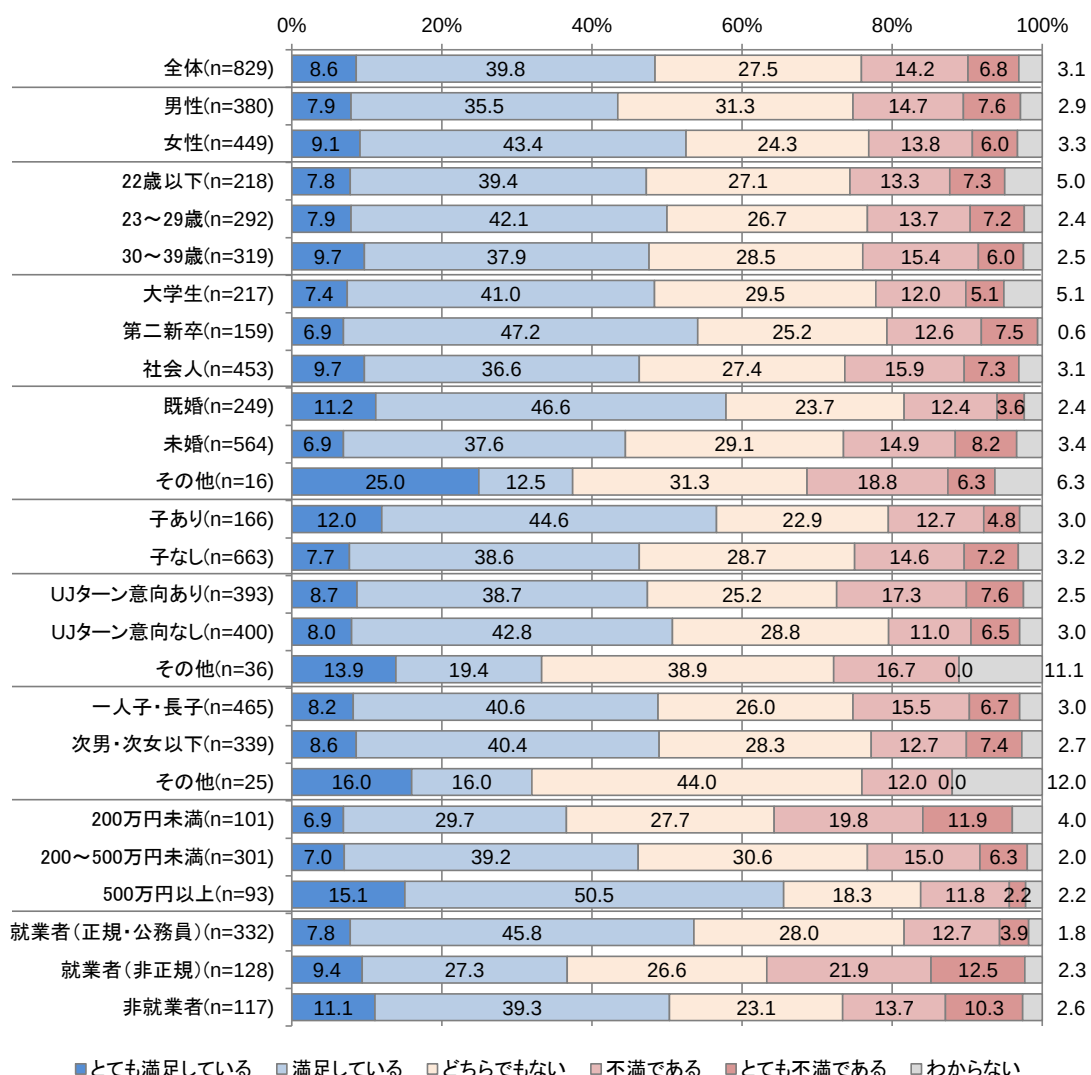
5. 属性別の現状の満足度

(1) 満足度（総合）

既婚者・子どもありの満足度は総じて高く、プライベートの満足度は年収に比例

総合的な満足度について属性別にみると、満足度が高いのは「既婚」の57.8%、「子どもあり」の56.6%、「第二新卒」の54.1%など。一方で不満が多いのは第二新卒以降の「社会人」の23.2%、「未婚」の23.1%、「男性」の22.3%となっている。

図表 5-1 属性別の現状の満足度（総合）



※ 各満足度については、「現在の居住地に住んでいることを前提として、それぞれの現在の満足度をお答えください」と質問した。

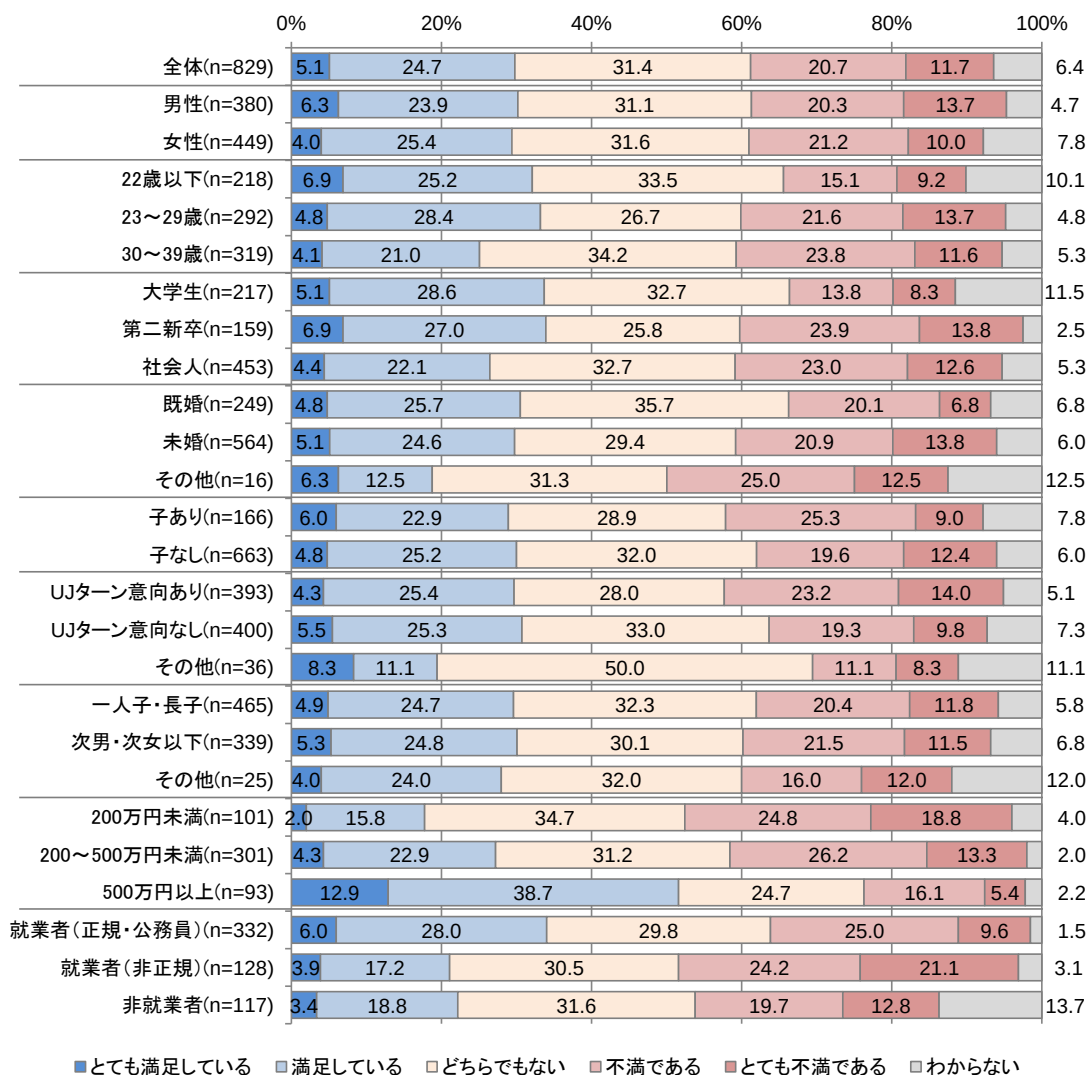
- ・「満足度（総合）」：現在の『仕事・プライベートを含めた生活全体』の総合的な満足度
- ・「満足度（仕事）」：現在の『仕事（職業・働き方・給与・キャリアなど）』に対する満足度（大学生は都市圏で働いた場合を想像）
- ・「満足度（プライベート）」：現在の『プライベート（友人・恋人関係や休日の過ごし方・趣味など）』に対する満足度
- ・「満足度（住環境）」：現在の『住環境（日常生活・自宅の住み心地など）』に対する満足度

(2) 属性別の現状の満足度（仕事）

第二新卒の満足度が二極化

就業形態や所得以外では「第二新卒」の 33.9%、「大学生」の 33.7%となっており、「社会人」の 26.5%に比べ若干高くなっている。一方で、不満の回答割合が多いのも「第二新卒」で 37.7%となっており、「第二新卒」の満足度が二極化している。

図表 5-2 属性別の現状の満足度（仕事）

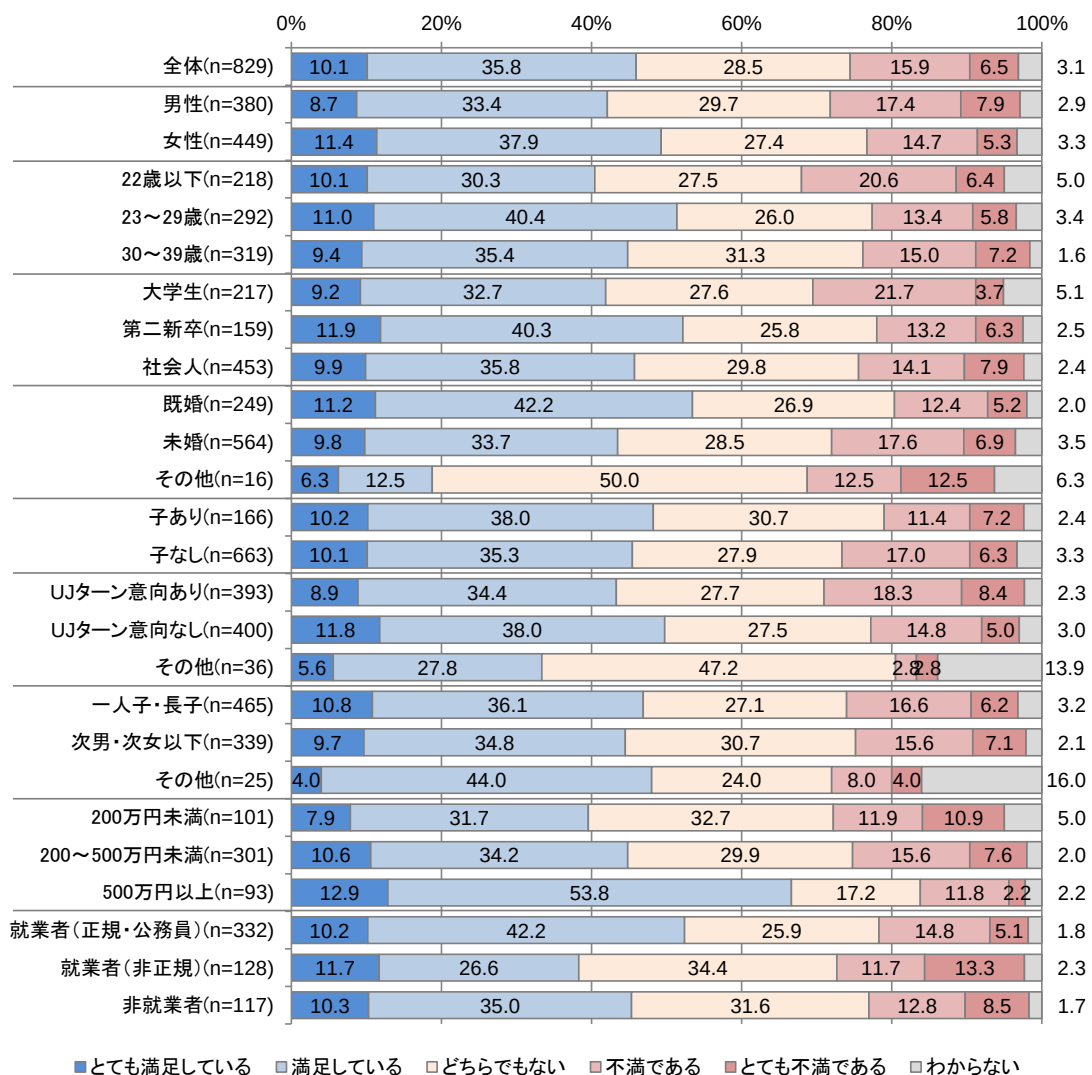


(3) 属性別の現状の満足度（プライベート）

プライベートの満足度は年収に比例し、また第二新卒の満足度が高い

「満足度（プライベート）」の満足度が最も高いのは所得が「500 万円以上」で、「満足している」の回答割合は 66.7%であった。次点は「既婚」で 53.4%となっている。「不満」の回答割合が大きいのは「22 歳以下」で 27.0%、次いで「UJ ターン意向あり」が 26.7%となっている。

図表 5-3 属性別の現状の満足度（プライベート）

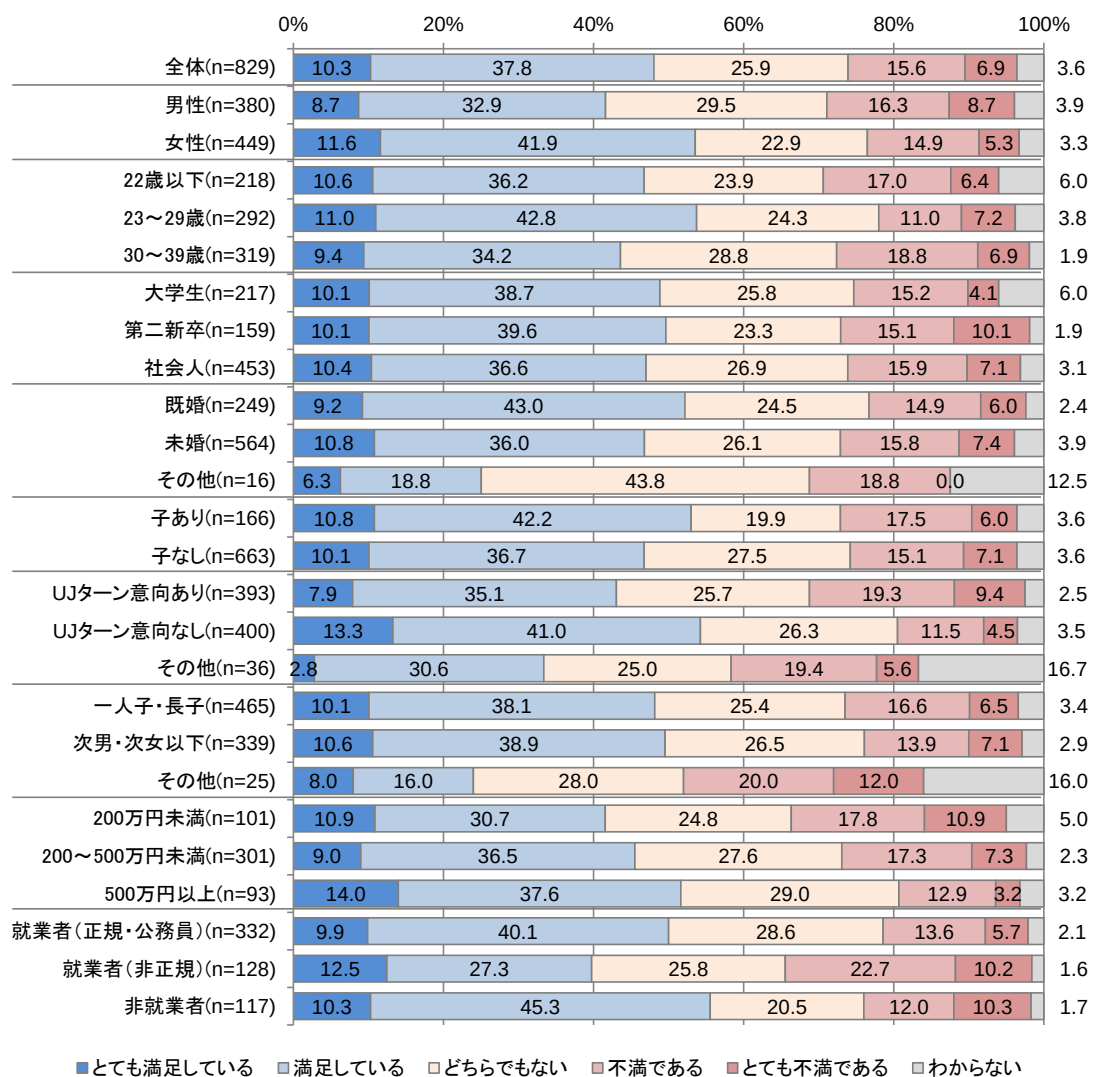


（４）属性別の現状の満足度（住環境）

住環境における満足度が高いのは「女性」、「既婚者」

属性別に「満足度（住環境）」についてみると、「満足度（総合）」に比べて所得が満足度に与える影響が小さくなっている。「満足」の回答割合が高いのは「非就業者」の 55.6%、「23～29 歳」の 53.8%、「女性」の 53.5%である。「非就業者」は女性の既婚者が満足度を引き上げている。「不満」の回答割合が大きいのは「就業者（非正規）」で 32.9%、次いで「UJ ターン意向あり」、「200 万円未満」がともに 28.7%となっている。

図表 5-4 属性別の現状の満足度（住環境）



6. Uターンへの期待

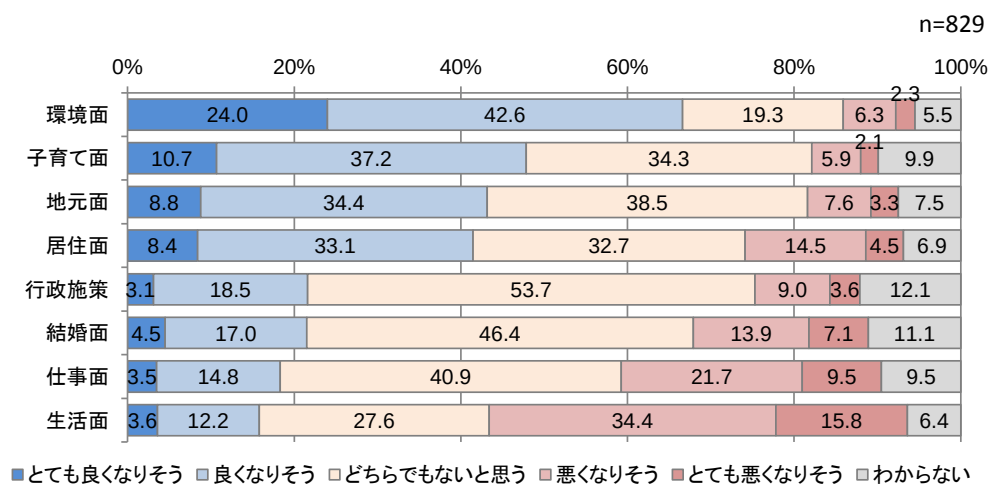
（１）Uターンによって良くなると思うもの

Uターンしたらよくなると思うのは期待するのは「環境面」、「子育て面」、「地元面」

Uターンによって良くなると思うものについてみると、都市圏から地方へのUターンの想定のため、「環境観（自然環境・気候）」の66.6%が最も高くなっている。以下、「子育て観（子育て・教育環境）」の47.9%、「地元観（人間関係〔親・友人や地域コミュニティなど〕・地域への愛着）」の43.2%、「居住観（住環境〔住居・生活の利便性〕）」の41.5%が続いている。

一方で悪くなりそうという回答が多いのは「生活面（余暇・娯楽・ショッピング環境）」で50.2%、次いで「仕事面（31.2%）」となっている。

図表 6-1 Uターンによって良くなると思うもの



※ 各満足度については、「現在の居住地に住んでいることを前提として、それぞれの現在の満足度をお答えください」と質問した。

- ・環境面：自然環境・気候
- ・子育て面：子育て・教育環境
- ・地元面：人間関係（親・友人や地域コミュニティなど）・地域への愛着
- ・居住面：住環境（住居・生活の利便性）
- ・行政施策：自分が住む地域の行政に対する評価
- ・結婚面：出会い・恋人や配偶者との関係
- ・仕事面：働く環境・キャリア形成・やりがい
- ・生活面：余暇・娯楽・ショッピング環境

(2) UJ ターン意向別の UJ ターンによって良くなると思うもの

人間関係が良くなり、生活費は不安

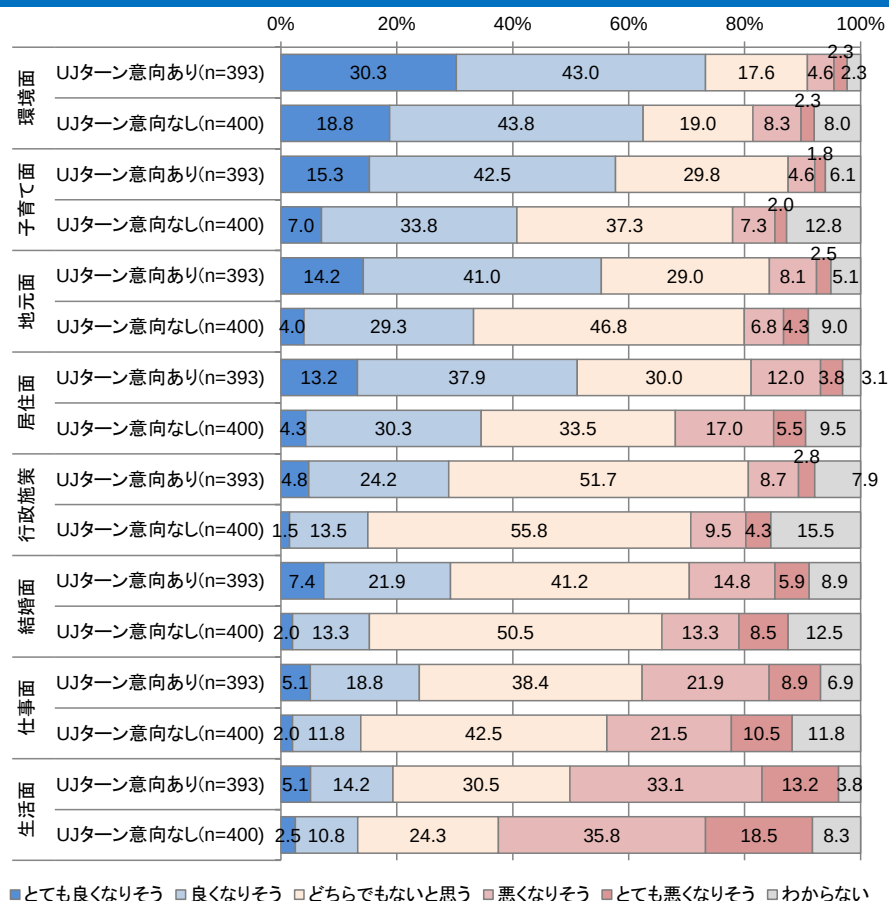
UJ ターン意向別に UJ ターンによって良くなると思うものについてみると、全項目において意向者の方が「良くなる」と回答する割合が高くなっている。

意向者と非意向者の回答割合のギャップが大きいのは、「地元面」で、意向者が55.2%、非意向者が33.3%で、その差は21.9%であった。以下、「子育て面」の17.0%差、「居住面」の16.5%差が続いている。

「悪くなりそう」の回答割合でギャップが大きいのは、「生活面」で8.0%差であったが、「居住面」のギャップも大きく、6.7%差となっている。UJ ターン意向者の現状の「居住観」の満足度が低いことも関係していると考えられる。

UJ ターンを意向する既婚者が、「地元に戻ることで親の子育て支援を受けつつ、住み慣れた町で過ごしたいが、仕事が見つかるか、生活費が高くならないか、ちょうど良い住宅が見つかるか不安」と思っているという例が考えられる。

図表 6-2 UJ ターン意向別 UJ ターンによって良くなると思うもの（UJ ターン意向「その他」以外）



※ 各満足度については、「現在の居住地に住んでいることを前提として、それぞれの現在の満足度をお答えください」と質問した。

・環境面：自然環境・気候

・地元面：人間関係（親・友人や地域コミュニティなど）・地域への愛着

・行政施策：自分が住む地域の行政に対する評価

・仕事面：働く環境・キャリア形成・やりがい

・子育て面：子育て・教育環境

・居住面：住環境（住居・生活の利便性）

・結婚面：出会い・恋人や配偶者との関係

・生活面：余暇・娯楽・ショッピング環境

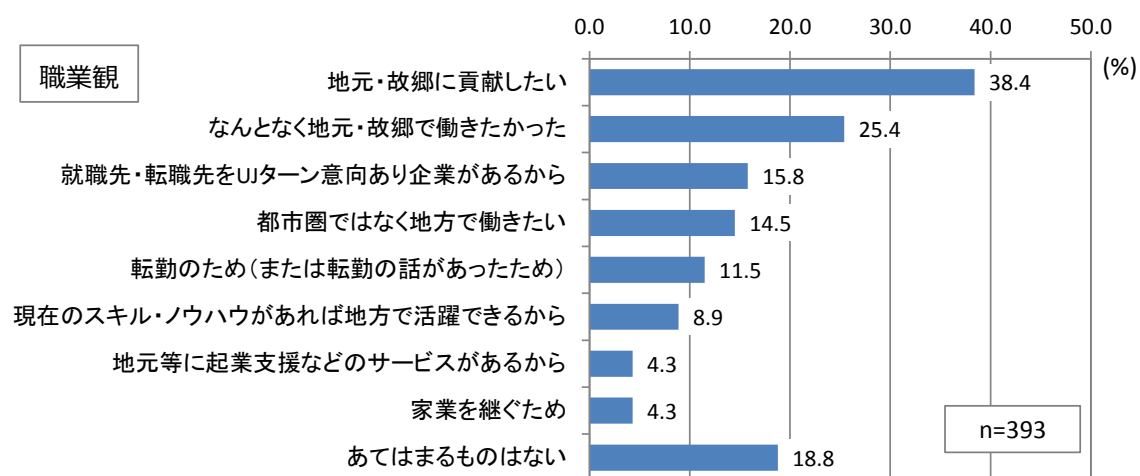
7. UJ ターンを希望する理由

(1) UJ ターンを希望する理由（職業観）

職業観における UJ ターンの希望理由は「地元貢献」、「なんとなく」

UJ ターン意向者の UJ ターンを希望する理由についてみると、職業観で最も回答が多かったのは「地元・故郷に貢献したい」で 38.4%、次いで「なんとなく地元・故郷で働きたかった」が 25.4%となっている。

図表 7-1 UJ ターンを希望する理由（職業観）（UJ ターン意向者のみ）



（２）ＵＪターンを希望する理由（地元観・生活観・結婚観・子育て観）

プライベート面で ＵＪ ターンを希望する理由は「居心地の良さ」、「都市圏での生活費の高さ」

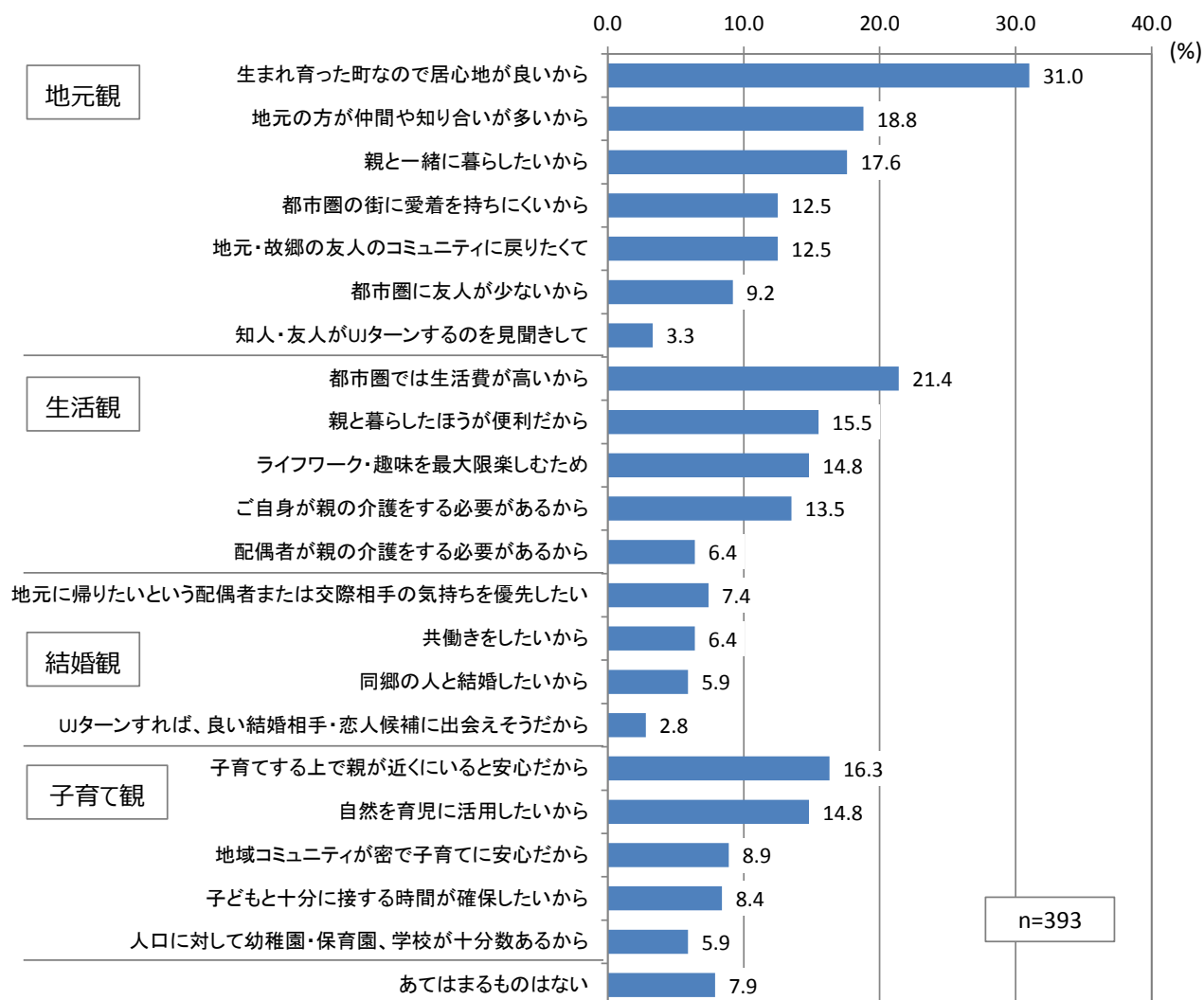
ＵＪ ターン意向者の ＵＪ ターンを希望する理由についてみると、地元観で最も回答が多かったのは「生まれ育った町なので居心地が良いから」で 31.0%、次いで「地元の方が仲間や知り合いが多いから」が 18.8%となっている。

生活観で最も多かったのは「都市圏では生活費が高いから」で 21.4%であった。

結婚観は全体的に回答割合が低い、最も多かった回答は「地元に戻りたいという配偶者または交際相手の気持ちを優先したい」で 7.4%であった。

子育て観では「子育てする上で親が近くにいると安心だから」が最も多く、16.3%であった。

図表 7-2 ＵＪ ターンを希望する理由（地元観・生活観・結婚観・子育て観）（ＵＪ ターン意向者のみ）



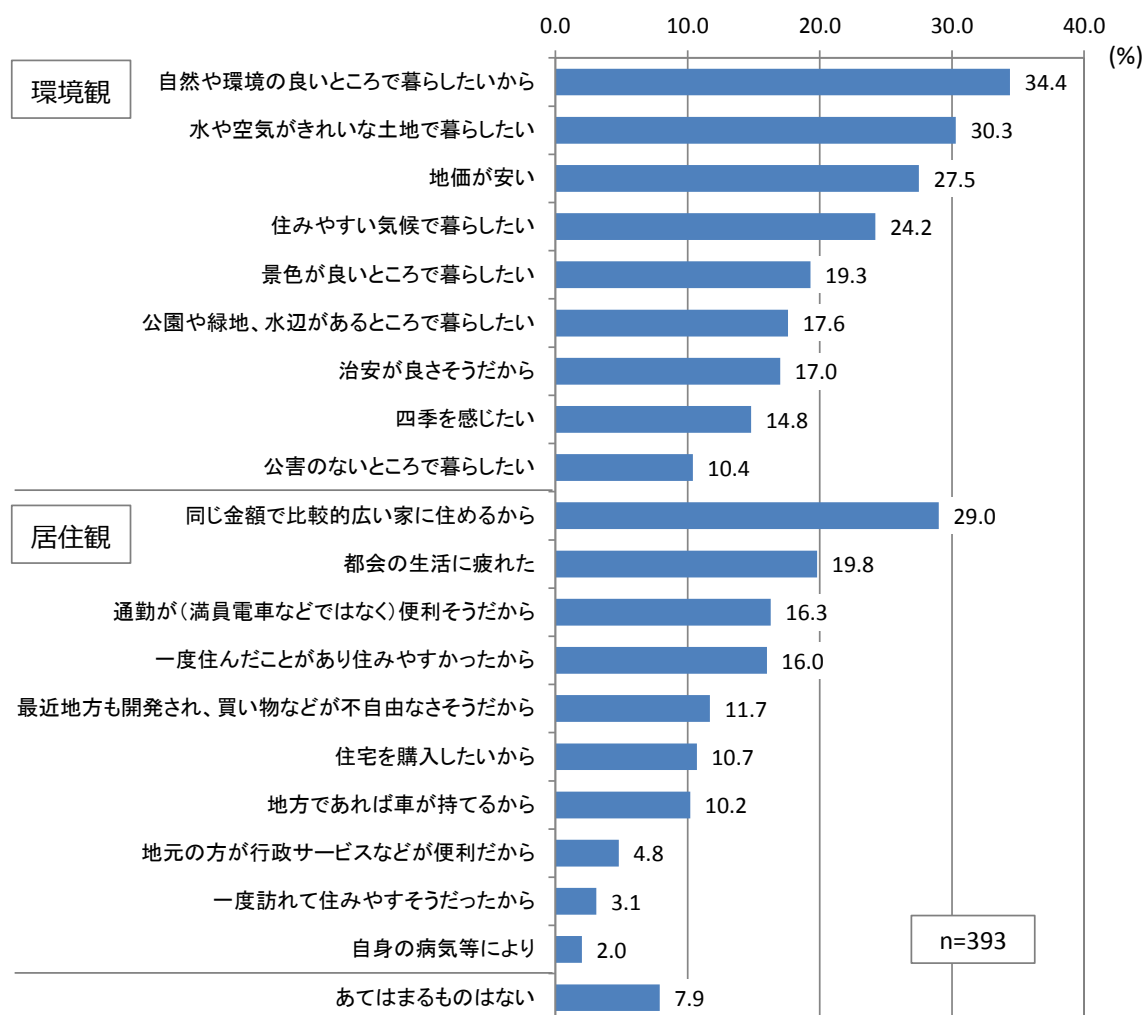
(3) UJ ターンを希望する理由（環境観・居住観）

環境観、居住観における UJ ターンの希望理由は「自然環境の良さ」、「同じ金額で広い家に住める」

UJ ターン意向者の UJ ターンを希望する理由についてみると、環境観で最も回答が多かったのは「自然や環境の良いところで暮らしたいから」が 34.4%、次いで「水や空気がきれいな土地で暮らしたい」が 30.3%となっている。

居住観で最も回答が多かったのは「同じ金額で比較的広い家に住めるから」が 29.0%、次いで「都会の生活に疲れた」が 19.8%となっている。

図表 7-3 UJ ターンを希望する理由（環境観・居住観）（UJ ターン意向者のみ）



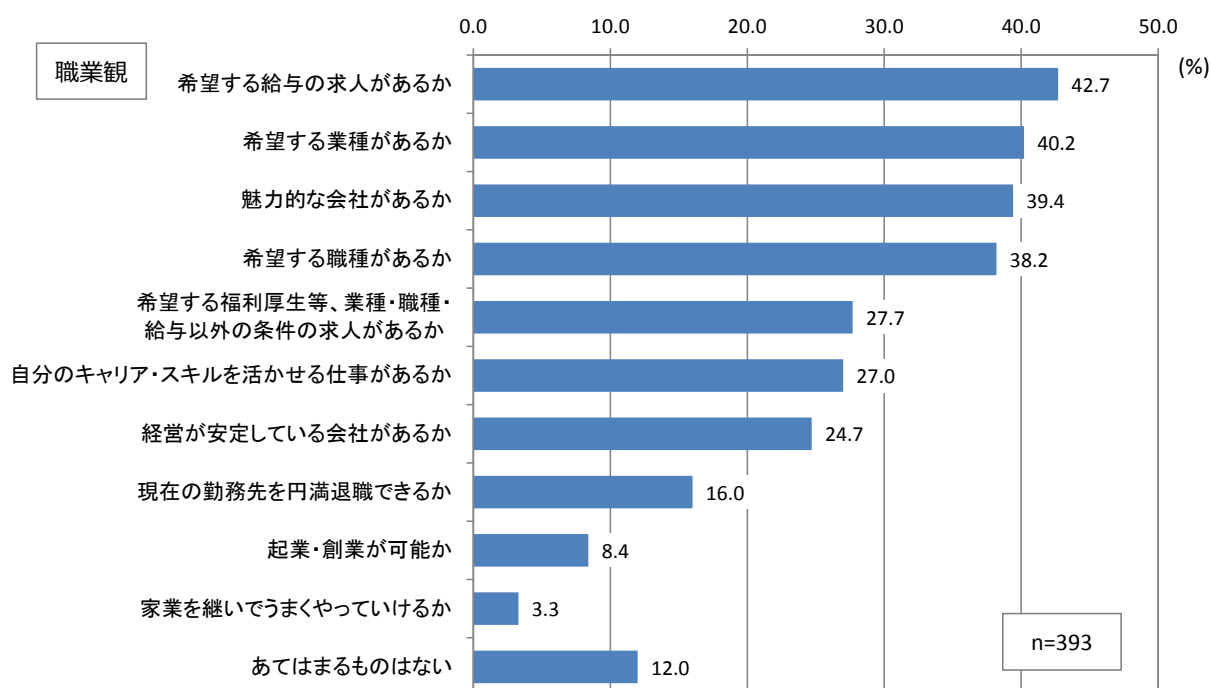
8. UJ ターンするにあたっての課題

(1) UJ ターンするにあたっての課題（職業観）

職業観における懸念は「給与」が 42.7%、「業種」が 40.2%、「魅力的な会社の有無」が 39.4%

UJ ターン意向者の UJ ターンするにあたっての課題についてみると、環境観で最も回答が多かったのは「希望する給与の求人があるか」で 42.7%であった。以下、「希望する業種があるか」が 40.2%、「魅力的な会社があるか」が 39.4%、「希望する職種があるか」が 38.2%と続いている。

図表 8-1 UJ ターンするにあたっての課題（職業観）（UJ ターン意向者のみ）



（２）ＵＪターンするにあたっての課題（地元観・生活観・結婚観・子育て観）

プライベート面での課題は「地域コミュニティに戻れるか」が 23.4%、「地方生活に飽きないか」が 21.4%

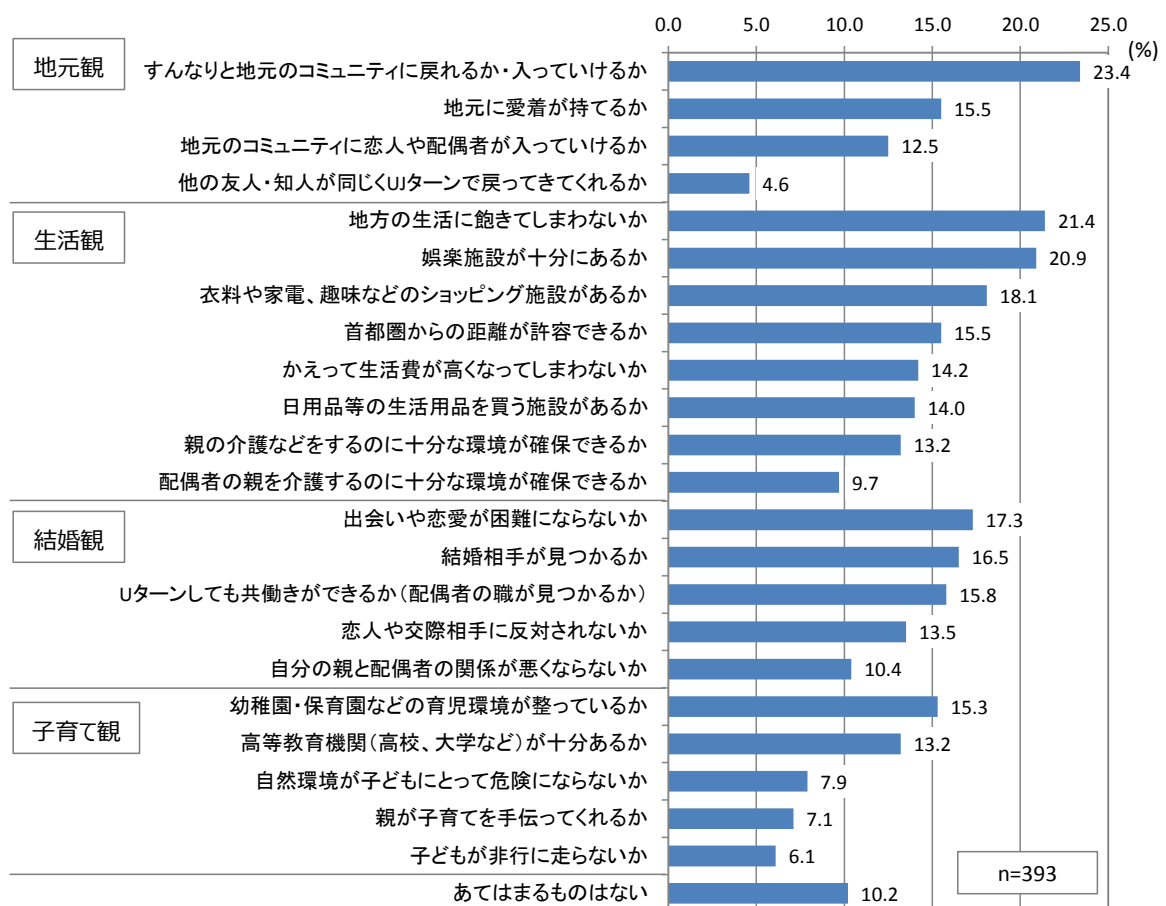
ＵＪターン意向者の ＵＪターンするにあたっての課題についてみると、地元観で最も回答が多かったのは「すんなりと地元のコミュニティに戻れるか・入っていけるか」で 23.4%であった。

生活観では、「地方の生活に飽きてしまわないか」の 21.4%が最も多く、次いで「娯楽施設が十分にあるか」が 20.9%となっている。

結婚観で回答割合が最も多かったのは「出会いや恋愛が困難にならないか」で 17.3%、以下、「結婚相手が見つかるか」の 16.5%、「Ｕターンしても共働きができるか（配偶者の職が見つかるか）」の 15.8%が続いている。

子育て観では、「幼稚園・保育園などの育児環境が整っているか」の 15.3%が最も多く、次いで「高等教育機関（高校、大学など）が十分あるか」が 13.2%となっている。

図表 8-2 ＵＪターンするにあたっての課題（地元観・生活観・結婚観・子育て観）（ＵＪターン意向者のみ）



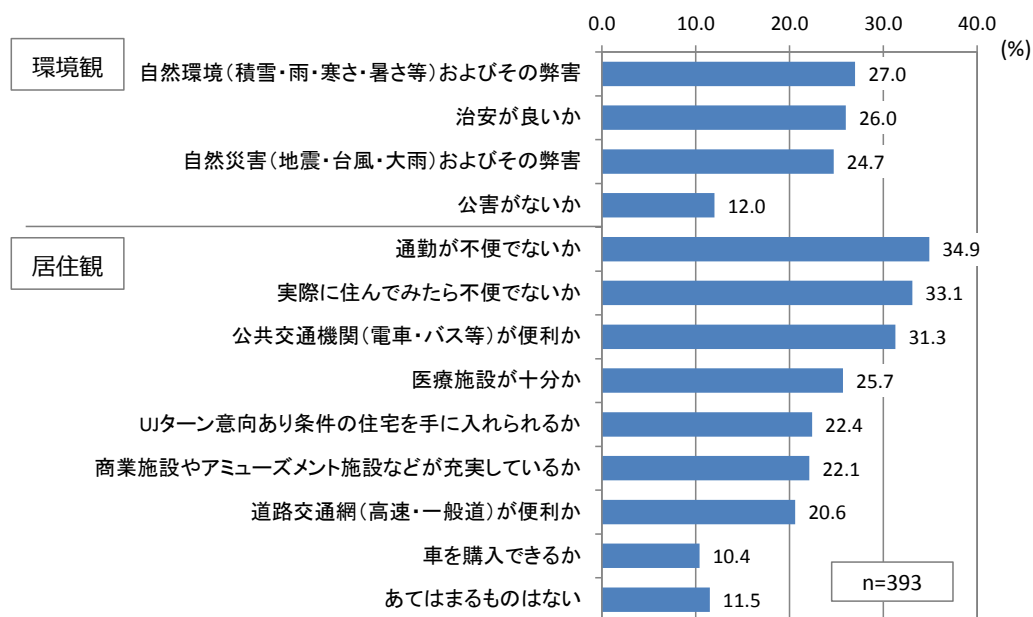
（３）ＵＪターンするにあたっての課題（環境観・居住観）

環境観・居住観での課題は「通勤の利便性」が 34.9%、「実際に住んでみたときの利便性」が 33.1%

ＵＪターン意向者のＵＪターンするにあたっての課題についてみると、環境観で最も回答が多かったのは「自然環境（積雪・雨・寒さ・暑さ等）およびその弊害」が 27.0%、次いで「治安が良いか」が 26.0%となっている。

居住観で最も回答が多かったのは「通勤が不便でないか」が 34.9%で最も多く、以下、「実際に住んでみたら不便でないか」の 33.1%、「公共交通機関（電車・バス等）が便利か」の 31.3%が続いている。

図表 8-3 ＵＪターンするにあたっての課題（環境観・居住観）（ＵＪターン意向者のみ）



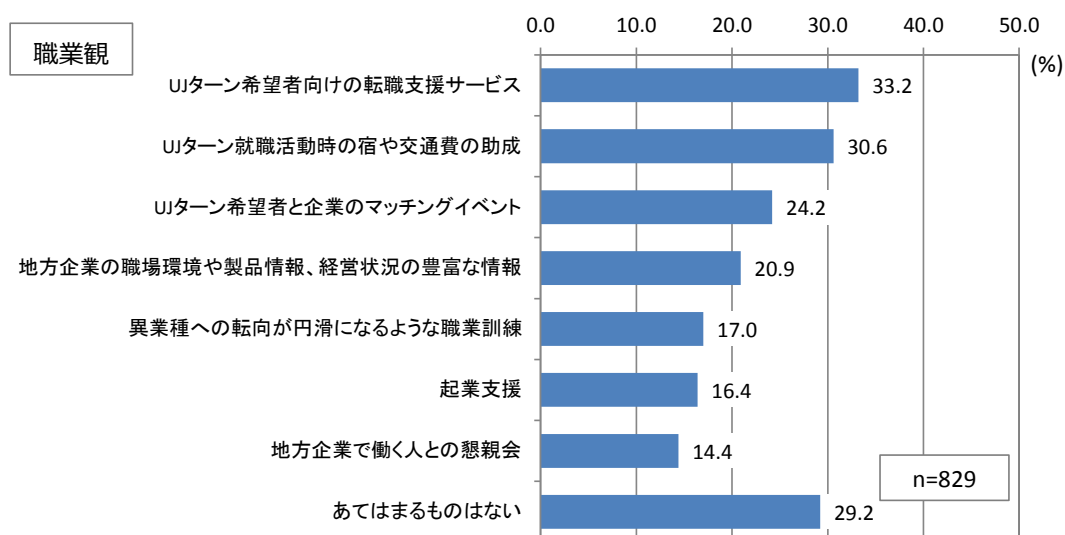
9. UJ ターンの意向が高まる支援・要素

(1) UJ ターンの意向が高まる支援・要素（職業観）

職業観における魅力的な支援は「転職サービス」33.2%、「UJ ターン就職活動時の経費助成」30.6%

UJ ターンの意向が高まる支援・要素についてみると、環境観で最も回答が多かったのは「UJ ターン希望者向けの転職支援サービス」で 33.2%であった。以下、「UJ ターン就職活動時の宿や交通費の助成」が 30.6%、「UJ ターン希望者と企業のマッチングイベント」が 24.2%、「地方企業の職場環境や製品情報、経営状況の豊富な情報」が 20.9%と続いている。

図表 9-1 UJ ターンの意向が高まる支援（職業観）



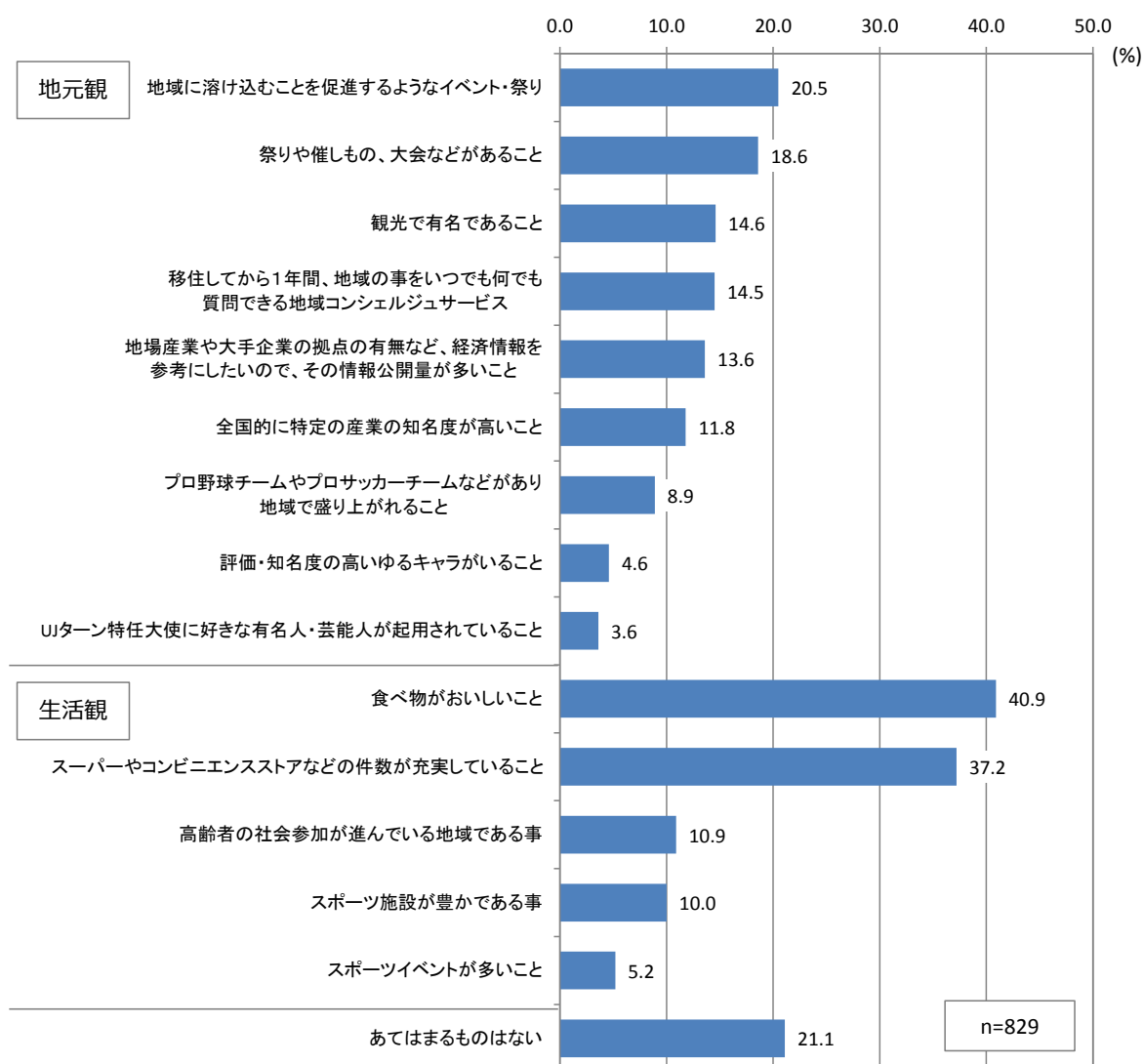
（２）ＵＪターンの意向が高まる支援・要素（地元観・生活観）

生活視点での ＵＪターンの魅力は「食べ物のおいしさ」が 40.9%、「スーパーなどの件数充実」が 37.2%

ＵＪターンの意向が高まる支援・要素についてみると、地元観で最も回答が多かったのは「地域に溶け込むことを促進するようなイベント・祭り」で 20.5%、次いで「祭りや催しもの、大会などがあること」が 18.6%と、地元参加の機会が求められている。

生活観では、最も回答割合が多かったのは「食べ物がおいしいこと」で 40.9%、次いで「スーパーやコンビニエンスストアなどの件数が充実していること」が 37.2%となっている。

図表 9-2 ＵＪターンの意向が高まる支援（地元観・生活観）



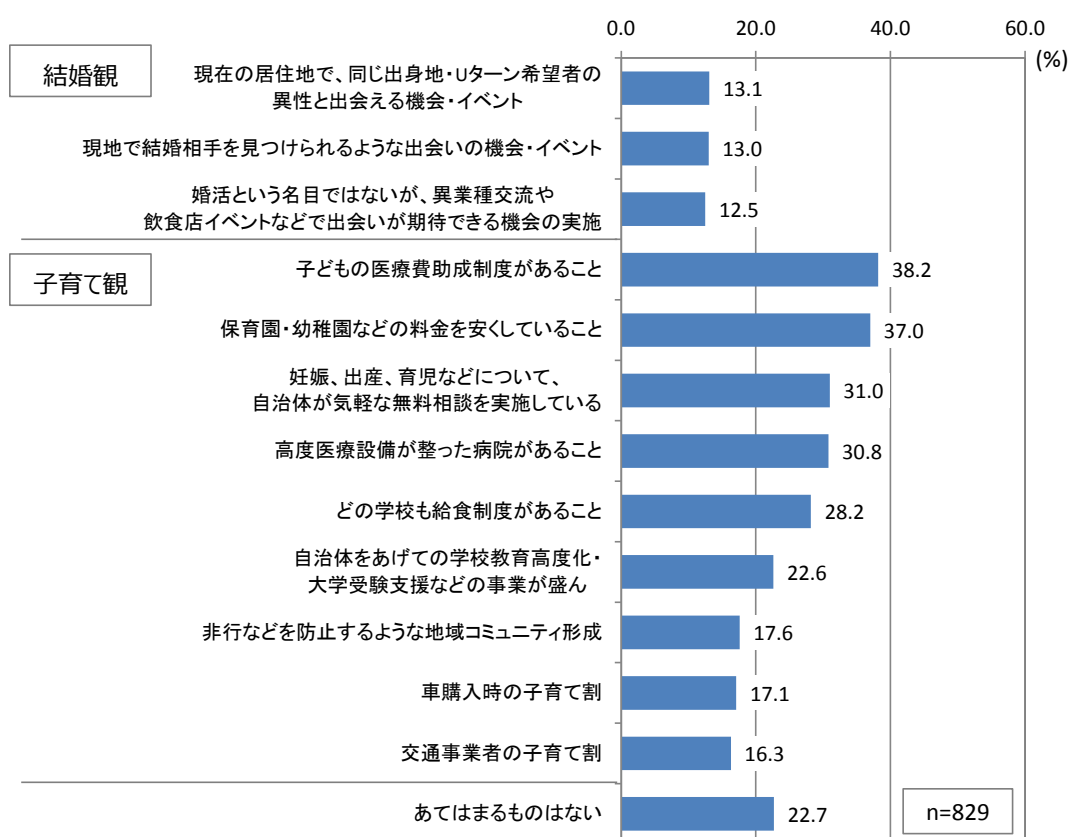
（３）ＵＪターンの意向が高まる支援・要素（結婚観・子育て観）

結婚・子育て観における魅力的な支援は「医療費助成」38.2%、「保育園・幼稚園の低料金化」37.0%

ＵＪターンの意向が高まる支援・要素についてみると、結婚観で回答割合が最も多かったのは「現在の居住地で、同じ出身地・Ｕターン希望者の異性と出会う機会・イベント」で13.1%であった。

子育て観では、「子どもの医療費助成制度があること」の38.2%が最も多く、以下、「保育園・幼稚園などの料金を安くしていること」が37.0%、「妊娠、出産、育児などについて、自治体が気軽に無料相談を実施している」の31.0%が続いている。

図表 9-3 ＵＪターンの意向が高まる支援（結婚観・子育て観）



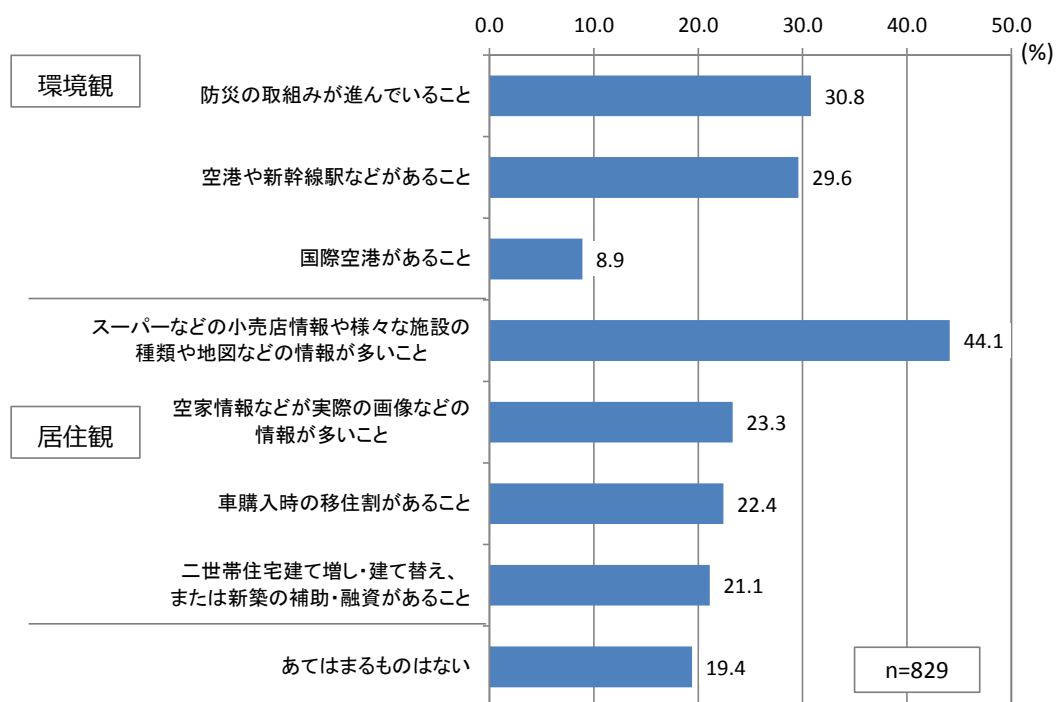
（４）ＵＪターンの意向が高まる支援・要素（環境観・居住観）

環境観・居住観における魅力的な支援は「地域の施設情報の充実」44.1%

ＵＪターンの意向が高まる支援・要素についてみると、環境観で最も回答が多かったのは「防災の取組みが進んでいること」で 30.8%、次いで「空港や新幹線駅などがあること」が 29.6%となっている。

居住観で最も回答が多かったのは「スーパーなどの小売店情報や様々な施設の種類の種類や地図などの情報が多いこと」で 44.1%であった。

図表 9-4 ＵＪターンの意向が高まる支援（環境観・居住観）

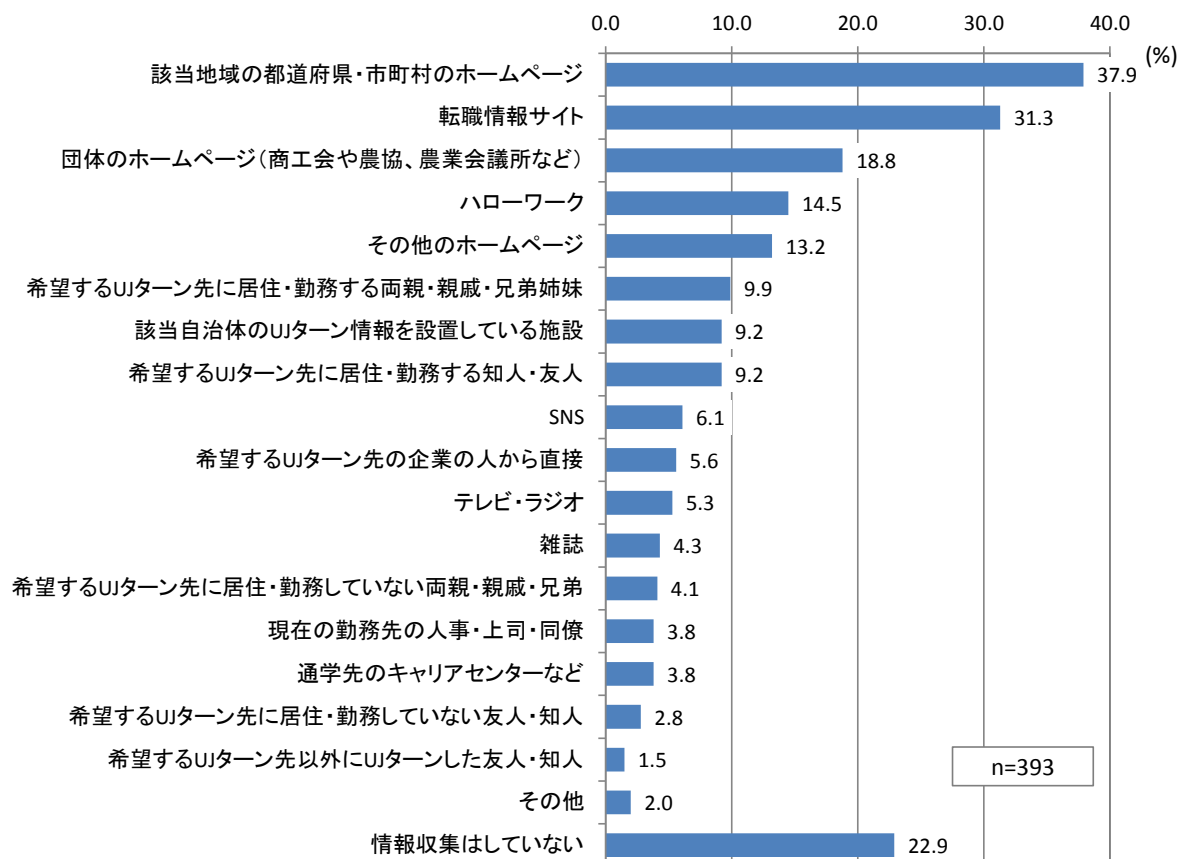


10. UJ ターンの情報源

UJ ターンの情報源は「自治体ホームページ」37.9%、「転職情報サイト」31.3%の2種類がほとんど

UJ ターンの意向者の UJ ターンの情報源についてみると、最も回答が多かったのは「該当地域の都道府県・市町村のホームページ」で 37.9%、次いで「転職情報サイト」が 31.3%となっている。

図表 10 UJ ターンの情報源（UJ ターン意向者のみ）



11. 出身地と希望地の一致の割合

出身地と UJ ターン希望先が一致しているのは 57%

UJ ターン希望地に都市圏以外を選択した人のうち、「出身の道府県」と「UJ ターン時に希望する道府県」が一致しているのは 57.6%であった。

図表 11 出身地と希望地の一致の割合（UJ ターン希望地に現在の居住地以外を選択した人）

結婚のパターン		人数	割合
UJ ターン希望地に都市圏以外を選択した人		740 人	100.0%
	うち 出身地と UJ ターン時に希望する道府県が同じ	426 人	57.6%
	その他	314 人	42.4%

※UJ ターン先に現在の居住地を選択した場合、UJ ターンではないため除外

12. 出身地と現在の親の居住地の一致の割合

出身地に今も両親が住んでいるのは 65.9%

全回答者のうち、「出身の道府県」と「現在親が居住している道府県」が一致しているのは 65.9%であった。

図表 12 出身地と現在の親の居住地の一致の割合

結婚のパターン		人数	割合
全回答者		829 人	100.0%
	うち 出身地に現在も親が住んでいる	543 人	65.9%
	その他	286 人	34.1%

13. 既婚者の出身地と、自身の出身地・居住地・その他

上京者の4割が上京先の相手と結婚、同郷の結婚は12.0%

既婚者のうち、「配偶者が同じ道府県」が12.0%、「現在の居住地出身の相手と結婚」が41.1%となっており、多くが上京先の相手と結婚している。

図表 13 既婚者の、自分と配偶者の出身地の関係（既婚者のみ）

結婚のパターン		人数	割合
既婚者		275 人	100.0%
うち 現在の居住地出身の相手と結婚		113 人	41.1%
うち 出身の道府県が同じ相手と結婚		33 人	12.0%
その他		129 人	46.9%

14. 現在の業種と希望する業種

UJ ターン時に現在の業種と同じ業種を希望するのは4割

有業者のうち、「現在の業種」と「UJ ターン時に希望する業種」が一致するのは44.8%となっている。

図表 14 現在の業種と希望する業種の一致の割合（有業者のみ）

結婚のパターン		人数	割合
有業者		495 人	100.0%
うち 現在の業種と UJ ターン時に希望する業種が一致する		222 人	44.8%
うち 現在の業種と UJ ターン時に希望する業種が一致しない		273 人	55.2%

※有業者 495 人は、前述の就業者 460 人に加え、職業に「自営業」、「自由業（フリーランスまたは士業・資格職）」、「その他」を加えた人数

15. 結婚について

(1) 結婚の有無

既婚率は、20代は2割、30代は6割

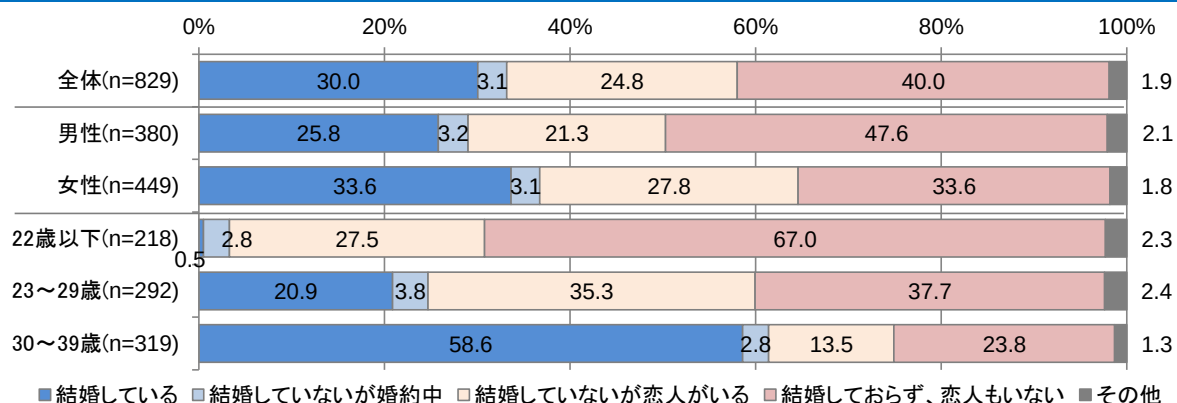
現在、都市圏に居住している地方出身者の18～39歳の男女のうち、「結婚している」が30.0%、「結婚していないが恋人がいる」が24.8%、「結婚しておらず恋人もいない」が40.0%であった。

「女性」の方が既婚率は高く、「結婚している」が33.6%となっている。

男女で恋人の有無の差が大きく、「結婚しておらず恋人もいない」は、「男性」の47.6%に対し「女性」は33.6%となっており、15%近くの差がある。

いずれの属性も、「婚約中」が3%前後となっている。

図表 15-1 結婚の有無

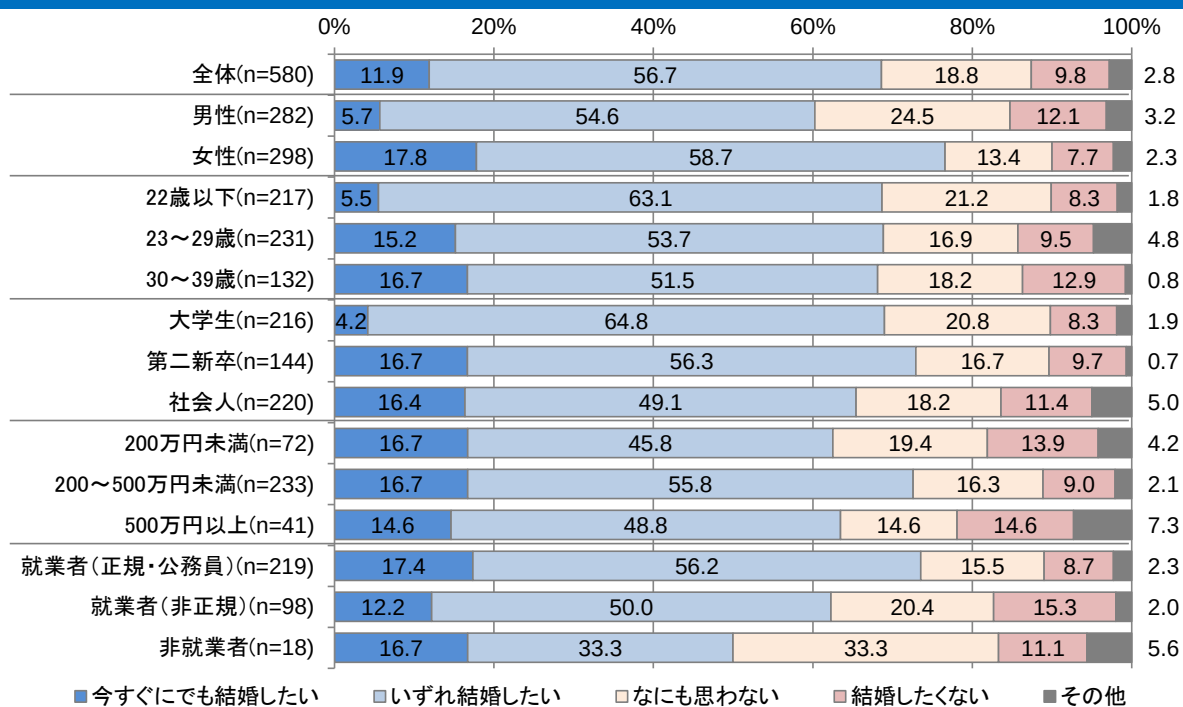


(2) 結婚願望

地方出身者も男女で結婚願望の有無に差があり、「男性」60.3%、「女性」76.5%

現在、都市圏に居住している地方出身者の 18～39 歳の男女の未婚者のうち、「今すぐにも結婚したい」と「いずれ結婚したい」を合わせて、「結婚願望あり」は 68.6%となっている。結婚願望においても男女差があり、「男性」は 60.3%、「女性」は 76.5%となっている。

図表 15-2 結婚願望（未婚者のみ）

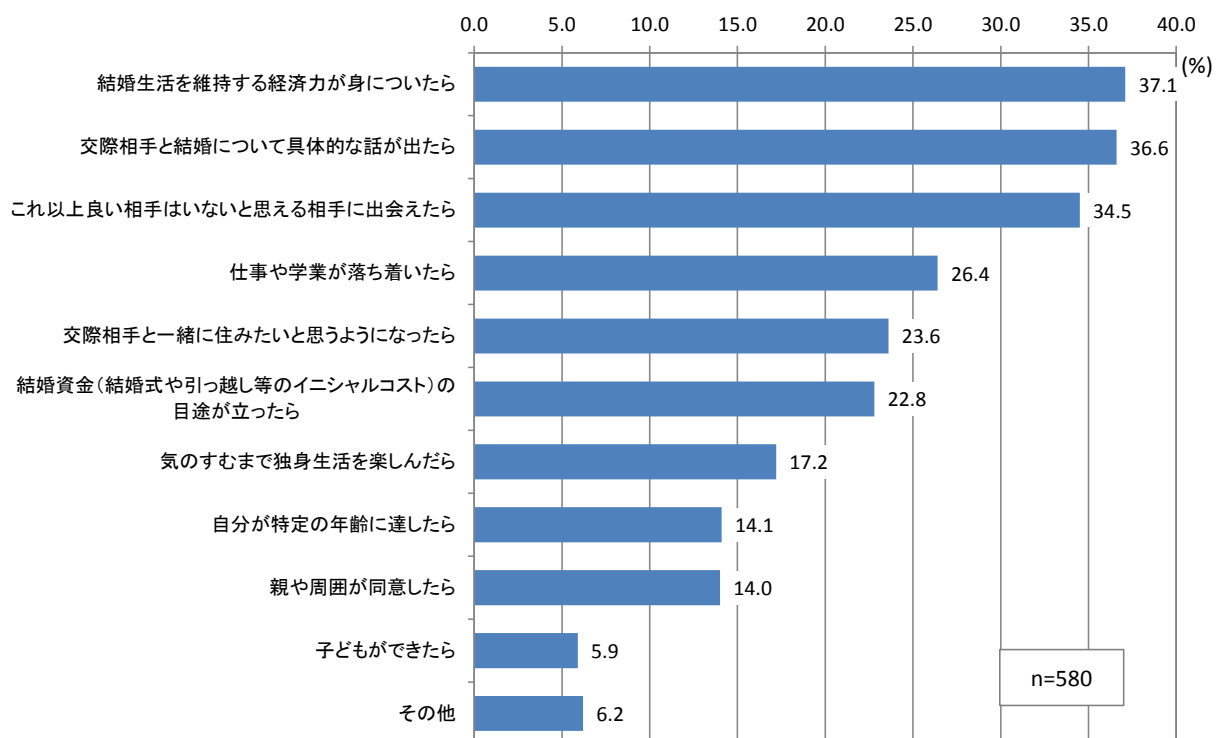


（３）結婚を決意するタイミング

結婚を決意するのは、「結婚生活のための経済力」37.1%、「具体的な話」36.6%

現在、都市圏に居住している地方出身者の18～39歳の男女の未婚者の「結婚を決意するタイミング」についてみると、最も回答割合が多かったのは「結婚生活を維持する経済力が身についたら」で37.1%であった。以下、「交際相手と結婚について具体的な話が出たら」の36.6%、「これ以上良い相手はいないと思える相手に出会えたら」の34.5%が続いている。

図表 15-3 結婚願望（複数回答）（未婚者のみ）



16. UJ ターンする際の住居について

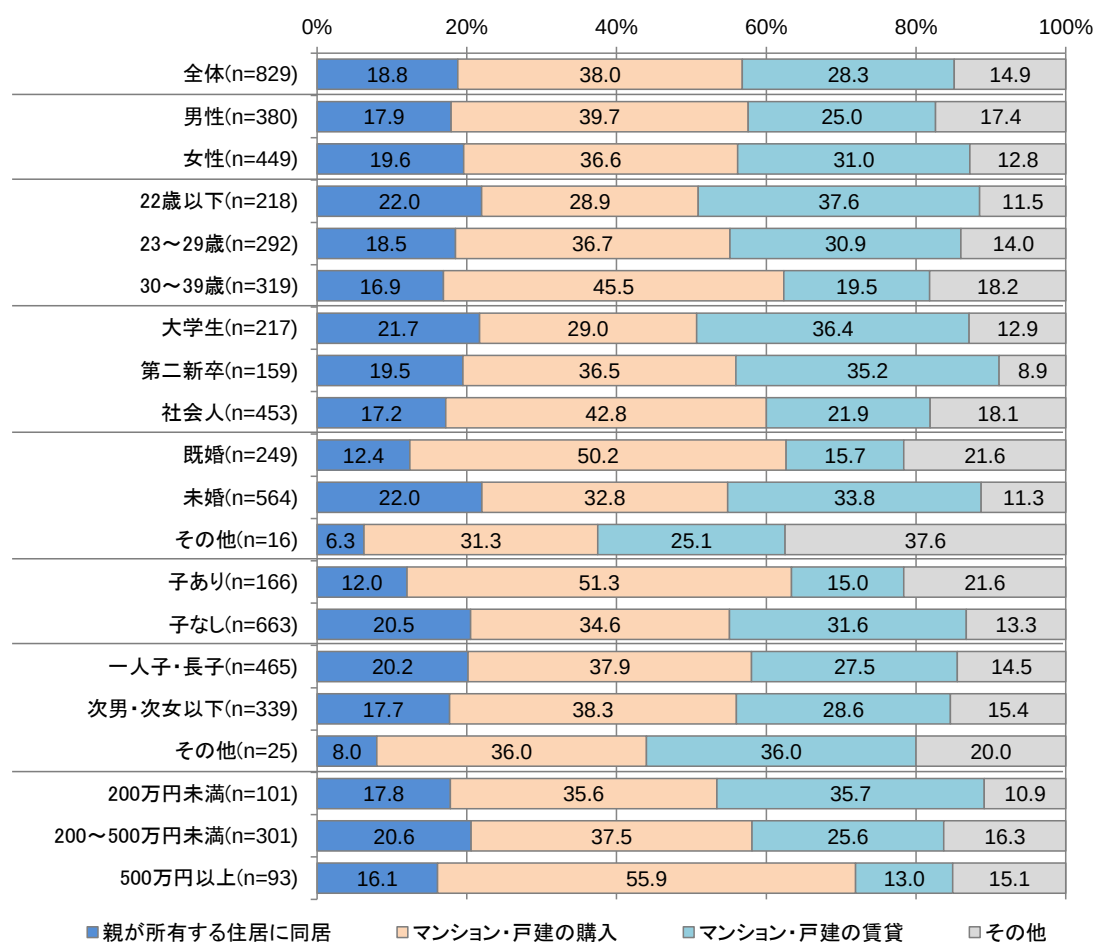
(1) UJ ターン時に希望する住居形態

希望する住居は「マンション・戸建の購入」が 38.0%で多数派

全回答者における UJ ターン時に希望する住居形態で、最も回答割合が多かったのは「マンション・戸建の購入」で 38.0%、次いで「マンション・戸建の賃貸」が 28.3%、「親が所有する住居に同居」が 18.8%であった。

「既婚」の「マンション・戸建の購入」の回答割合が多く、50.2%となっている。一方、「未婚」の「マンション・戸建の賃貸」が多く、33.8%となっている。

図表 16-1 UJ ターン時に希望する住居形態



（２）二地域居住について

移住ではなく、二地域居住については、２割が肯定的意見

全回答者における二地域居住についての回答をみると、「都市圏に生活の拠点を置き、地方で仮住まいし就業をしても良いかもしれない」と回答したのは 18.9%、「地方に生活の拠点を置き、都市圏で仮住まいし就業しても良いかもしれない」と回答したのは 19.1%と、二地域居住に対して概ね 2 割弱が肯定的な考えを持っている。

一方、「休日も平日も同じ拠点・住宅で生活したい」という回答が 37.2%となっている。

図表 16-2 二地域居住について（複数回答）

		n	都市圏に生活の拠点を置き、地方で仮住まいし就業	地方に生活の拠点を置き、都市圏で仮住まいし就業	休日も平日も同じ拠点・住宅で生活したい	よくわからない	その他
	全体	829	18.9	19.1	37.2	28.7	1.0
性別	男性	380	22.4	22.1	30.8	30.3	0.8
	女性	449	16.0	16.5	42.5	27.4	1.1
年代	22歳以下	218	19.3	19.7	33.5	31.2	0.9
	23～29歳	292	15.1	20.9	39.7	29.5	0.7
	30～39歳	319	22.3	16.9	37.3	26.3	1.3
属性	大学生	217	21.2	19.4	32.3	30.9	0.5
	第二新卒	159	14.5	26.4	43.4	23.9	0.6
	社会人	453	19.4	16.3	37.3	29.4	1.3
未婚	既婚	249	20.5	16.5	40.6	26.1	1.2
	未婚	564	17.7	19.9	36.3	29.8	0.7
	その他	16	37.5	31.3	12.5	31.3	6.3
子ども有無	子あり	166	16.3	19.3	34.3	31.9	1.2
	子なし	663	19.6	19.0	37.9	27.9	0.9
年収	200万円未満	101	17.8	22.8	41.6	21.8	2.0
	200～500万円未満	301	16.3	20.3	37.5	30.6	1.0
	500万円以上	93	30.1	24.7	32.3	19.4	1.1
就業	就業者（正規・公務員）	332	19.3	22.0	37.0	27.7	0.6
	就業者（非正規）	128	17.2	20.3	39.8	24.2	1.6
	非就業者	117	13.7	7.7	45.3	33.3	0.9

※本設問については、「休日も平日も同じ拠点・住宅で生活したい」及び「よくわからない」を選択した場合は、他の選択肢を選択できない。